

教えて! 市立病院



〈今月のドクター〉

副院長 兼
心臓血管外科長
佐藤洋一 医師

足に血管が浮き出てボコボコしている、若しくは血管が青く太くなって曲がっている人は下肢静脈瘤の可能性ががあります。軽傷のものも含めると50歳以上では60%の人が罹患しています。

原因は、出産や加齢、立ち仕事、遺伝などで、皮膚の下を走る直径3mmほどの細い静脈についている弁が壊れて、血液が足の下の方に

〈第74回〉かしじょうみゃくりゅう 下肢静脈瘤とその治療

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

逆流して溜るためです。長年かけて少しずつこの静脈が太くなり曲がってきます。進行すると足が重い、だるい、疲れやすい、浮腫む、夜に足が攣る、痛いなどの症状が出現します。放置すると炎症や出血、静脈血栓、皮膚潰瘍（皮膚などの傷が進行することで起こる組織の欠損）などを合併します。何らかの症状を認めたら、合併症を起こす前に早期に手術を行った方が良いです。その理由は、軽い

うちなら局所麻酔でのレーザー治療が可能であり、下腿（ひざから下の部分）に加える4mmほどの創の数が少なくなるからです。更に、合併症を併発すると、手術後の回復に時間を要します。

当院では、2010年10月～2019年6月の間に、700人以上にレーザー治療を行いました。その治療法や注意点を市民公開セミナーで、心臓や動脈の疾患も交えてお話ししたいと思います。

〈市民公開セミナーを開催します〉

■日時／7月27日(土) 開場9時30分・開演10時

■場所／すこやかセンター ■参加費／無料（申込不要）